FRONTIER

フロンティアユーザーズマニュアル

Windows XP DSP版用

Windows XP
プリインストールモデル
ご購入のお客様へ

本機には、Windows XPが、あらかじめインストールされております。

別添「スタートアップガイド」の「起動および初期設定」に沿って初回セットアップを行ってください。

本書にはWindowsの動作が不安定になった場合に、購入時の状態に戻す方法（初期化）について記載しております。初期化時以外には本操作を行う必要はございませんので、ご注意ください。

08G-74190 Ver.1

KOUZIRO Co.,Ltd.

目次

第１章　はじめに

　このたびは、株式会社KOUZIROの製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本書では、本機を使用するために必要な取扱い方法と、安全上守っていただきたい注意が記載されています。本機を使用する前に、本書をよくお読みのうえ、安全に正しくご使用くださるようお願いします。また、機器の使用中にわからないことがでてきた場合に、いつでも読めるように大切に保管してください。

以下にＯＳ再セットアップ後に行う作業について予め必要な事柄を記載しております。

製品構成表をご確認ください。

保証書封筒に同封されています製品構成表にあるリカバリーコードは、OSを再インストールするときに必要になります。予めこの欄に書き写してください。

製品構成表例（お客様の構成によりリカバリーコードの数字、アルファベットは異なります。）

ﾘｶﾊﾞﾘｰｺｰﾄﾞ	69377	■ﾓﾃﾞﾙ名ｺｰﾄﾞ　312　■FRCX(P5B-VM/5.1)	1
	69636	■OSｺｰﾄﾞ　7　■XP Home	1
	67870	■ﾊﾟﾃ分割ｺｰﾄﾞ　04　■C:40GB	1
	67875	■ｵﾌｨｽｺｰﾄﾞ　a　■Personal	1
	67942	■ｳｨﾙｽｿﾌﾄｺｰﾄﾞ　1　■VB2007	1

この空欄にそれぞれのコードを書き写してください。
※アルファベットのコードは小文字です。

モデル名コード［　　　］　ＯＳコード［　　　］　パテ分割コード［　　　］

オフィスコード［　　　］　ウイルスソフトコード［　　　］

第２章　取扱時の注意事項

警告 安全に使用するために

本機は安全に十分配慮して設計されています。しかし、コンピュータは間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5ページからの注意事項をよくお読みください。本機全般の注意事項が記載されています。

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。
ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

故障したら使わない

すぐにフロンティアカスタマーセンター、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・本機を落としたり、キャビネットを破損したとき

①電源を切る
②電源コードや接続ケーブルを抜く
③すぐにフロンティア カスタマーセンター、
　または販売店に修理を依頼する

●瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることをお薦めします。

●著作権について

お客様が本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。コピーガード信号の入った映像は録画することができません。

●本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

商標について
・Intel、Pentium、Celeron は Intel Corporation の商標または登録商標です。
・Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
・その他本書で登場するシステム名、製品名、ソフトウェア名、サービス名は、開発元および販売元の登録商標あるいは商標です。

・権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
・本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
・本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
・本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
・本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
・CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。
・コピーコントロールCDに関しては、正式なCD規格に準拠しない特殊なディスクであり、コンピュータでの再生および、ハードディスクなどへの保存等の動作は保証しかねます。詳細については、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

警告表示の意味について

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大ケガなどの人身事故につながることがあります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
注意	禁止　 分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止	指示　 プラグをコンセントから抜く

⚠警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

●電源コードを傷つけない デスクトップ ノート

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
・本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
万一、電源コードが傷んだら、フロンティアカスタマーセンター、または販売店に交換をご依頼ください。
※有償交換となる場合がございます。

禁止

●油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない デスクトップ ノート

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。
取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

●内部に水や異物を入れない デスクトップ ノート

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、フロンティアカスタマーセンター、または販売店に点検・修理をご依頼ください。

ぬれ手禁止

●むやみに内部を開けない デスクトップ ノート

・内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はフロンティアカスタマーセンターにご依頼ください。
・各種の拡張基板を取り付けたり、メモリを増設する場合など、コンピュータを開ける必要があるときには、製品の電源を切って電源コードを抜き、1分ほどそのままおいて放電させてから作業を行ないます。部品の角などでけがをしないようにご注意ください。作業は増設する部品の説明書に従ってください。説明書にない部分にむやみに触れると火災や感電の原因となることがあります。

分解禁止

●指定のACアダプタ以外は使用しない ノート

火災や感電の原因となります。

禁止

●ひざの上などで使用しない ノート

使用中は本体の底面が熱くなりますので、ひざの上などで使用しないでください。
低温やけどするおそれがあります。

禁止

●熱変形しやすいものを本体の下に敷かない ノート

使用中は本体の底面が熱くなりますので、デスクマットなど熱変形しやすいものを本体の下に敷かないでください。

禁止

●落雷のおそれがあるときは本機を使用しない デスクトップ ノート

落雷により、感電したり本機が故障することがあります。
雷が予測されるときは、火災や感電、本機の故障を防ぐためにテレホンコードや電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

禁止

●本機は日本国内専用です デスクトップ ノート

交流100Vでお使いください。
海外などで異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

禁止

●LANポートに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない デスクトップ ノート

本機のLANポートに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。
・10BASE-Tと100BASE-TXおよび1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク
・一般電話回線
・PBX(デジタル式構内交換機)回線
・ホームテレホンやビジネスホンの回線
・上記以外の電話回線など

指示

⚠警告 下記の注意事項を守らないと健康を害するおそれがあります。

●ディスプレイを長時間継続して見ない デスクトップ ノート

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

●キーボードを使いすぎない デスクトップ ノート

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

●大音量で長時間続けて聞きすぎない デスクトップ ノート

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

●ぬれた手で電源プラグをさわらない デスクトップ ノート

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

●接続の際は電源を切る デスクトップ ノート

電源コードを抜くときは、製品や接続する機器の電源を切ってから抜いてください。接続コードの抜き差しをするときには、製品や接続する機器の電源を切って電源コードを抜いてから向きや接続場所をよく確認して作業をしてください。感電や故障の原因となることがあります。
特にキーボードやマウスは間違えやすく損傷しやすいので注意が必要です。

注意

●指定された電源コードや接続コードを使う デスクトップ ノート

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

注意

●電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない ノート

断線や故障の原因となることがあります。

禁止

●通風孔の前に熱変形しやすいものを置いたり、ふさいだりしない デスクトップ ノート

通風孔からは高温の熱が排出されますので、通風孔の前に熱変形しやすいものを置いたり、ふさいだりしないでください。火災や故障の原因となることがあります。次の項目をお守りください。
・フロッピーディスクなど、熱で溶けやすいものを近くに置かない。
・毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上で使用しない。

禁止

●通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない ノート

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

●本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない デスクトップ ノート

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

●不安定な場所に設置しない デスクトップ ノート

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度も十分にお確かめください。

禁止

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

●本機の上に乗らない、重い物を乗せない デスクトップ ノート

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

●運搬時は慎重に デスクトップ

コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下により、けがの原因となることがあります。また、製品と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

●お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く デスクトップ ノート

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

●移動させるときは電源コードや接続コードを抜く デスクトップ ノート

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。また、本機を落とさないようにご注意ください。

●コネクタはきちんと接続する デスクトップ ノート

・コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災や故障の原因となることがあります。
・コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
・コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
・アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

●長時間使用しないときは電源プラグを抜く デスクトップ ノート

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

●直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない デスクトップ ノート

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

●液晶画面に衝撃を与えない ノート

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。

●ディスプレイパネルの裏側を強く押さない ノート

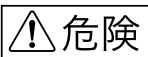
液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

●本体に強い衝撃を与えない デスクトップ ノート

故障の原因となることがあります。

ノートパソコン用バッテリについての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

●指定された充電方法以外で充電しない。●火もしくは水の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで熱しない。コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。●火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。●バッテリに衝撃を与えない。落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。●バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。●本体に付属または指定された別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、地方自治体の条例などに従い、一般ゴミに一緒に混ぜて捨てないでください。

第３章　本機ご利用にあたって

箱の中身を確認しましょう

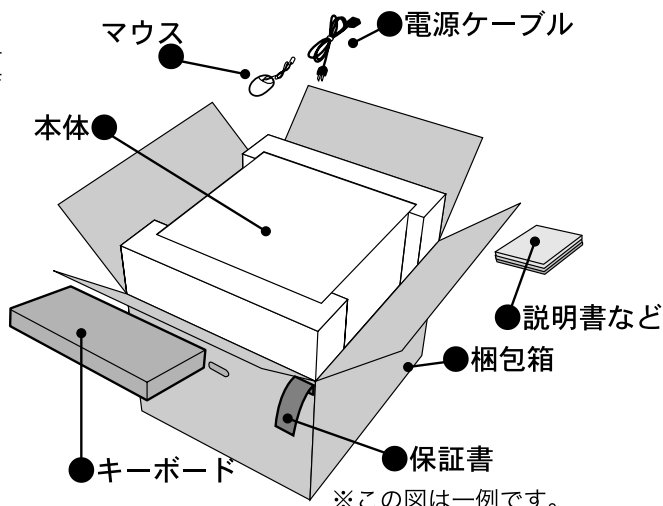
本製品は以下のような形で梱包されています。(一部製品を除く)
万一、ご注文された製品と構成が異なる場合や欠損がある場合には、お買い上げ頂いた販売店までご連絡ください。
なお、セットに液晶ディスプレイが含まれている場合は、ディスプレイに付属のマニュアルにてご確認ください。
(製品により液晶モニタが同梱されている場合がございます。)

【御注意】
本機が破損していたり、持ち上げた際に内部から異音がした場合には、電源を入れずにお買い上げの販売店もしくはフロンティアカスタマーセンターまでご連絡ください。

※この図は一例です。

●本体
パーソナルコンピュータ本体です。
重量がありますので取出しの際には注意してください。

●梱包箱
本機を輸送する際に必要となりますので、この梱包箱や梱包材は捨てずに保管してください。

●保証書
本機の保証書です。梱包箱の横側に貼りつけられた封筒に入っています。
裏面の無償修理規定をご覧になられたうえで、必要事項をご記入ください。
その後、必要なときに取り出せるように大切に保管してください。
※フロンティアPCワランティ安心パックにご加入の場合、加入証･特約条項が付属いたしますので、大切に保管してください。

【御注意】
保証書は大切に保管してください。製品名･シリアルナンバーの一致した保証書がない場合、保証を受けられません。保証書裏面には保証内容が記載されていますのでご確認ください。

□製品名･シリアルナンバー□
この欄のシリアルナンバーはフロンティアカスタマーセンターなどをご利用いただく際に必要となります。この部分を汚したりすることのないよう大切に保管してください。

FRONTIER　PC製品保証書

製品名・シリアルNo.

保証期間　お買い上げ日より　年間
お買い上げ日　年　月　日

お客様　ご芳名　様
ご住所　〒
TEL

レシート添付欄

【個人情報の収集・利用目的】ご購入頂いた商品の発送、関連するアフターサービスの対応、商品・サービスに関する情報、その他何らかの理由によりお客様に連絡をとる必要が生じた時に、電話・電子メール・FAX・郵便により、お知らせのために利用致します。
ご同意いただける場合は、ご記入をお願い致します。

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。
保証期間内に故障が発生した場合、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または
フロンティアカスタマーセンターまでご相談ください。
裏面もご覧ください→

販売店　住所・電話番号

修理、故障等のお問い合わせ送付先
フロンティアカスタマーセンター

＊本保証書は日本国内においてのみ有効です。（一部例外を除く）（This warranty is valid only in Japan ）
＊保証期間経過後の修理につきましては、上記のフロンティアカスタマーセンターまでご相談ください。

06C-　64864 ver2
4 545023 648649

□お買い上げ日□
製品がお手元に到着した日付をご記入ください。
店頭でお買い上げの場合はレシートを必ず貼付して保管ください。お買い上げ日の証明(レシート)がない場合には、当社の出荷記録日をお買い上げ日とさせていただきます。

□お名前やご住所□
お客様ご本人のお名前とご住所、電話番号を明記してください。

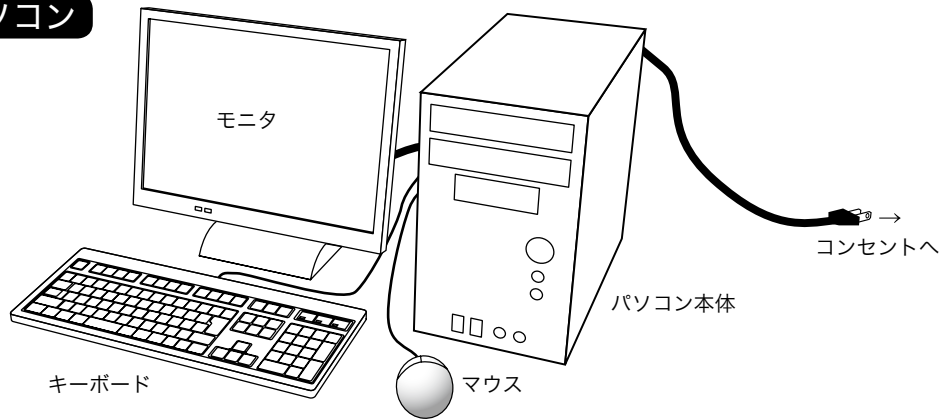
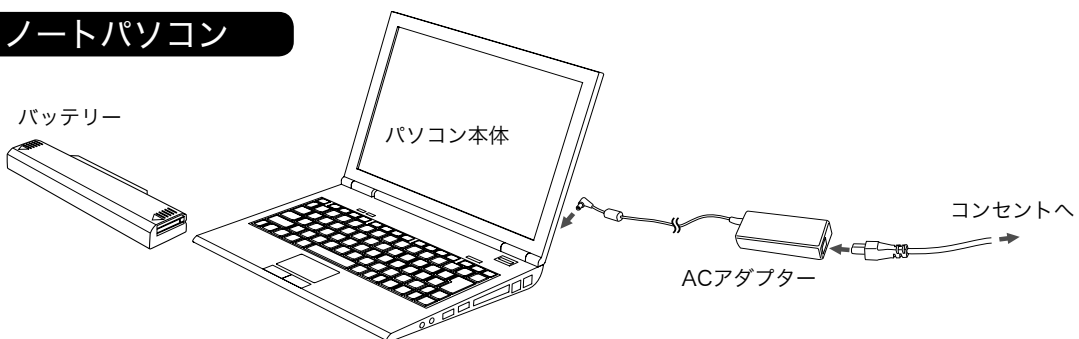
パソコンを設置しましょう

下図はパソコンの一般的な構成です。
デスクトップパソコンは「パソコン本体」、「モニタ」、「キーボード」「マウス」「電源ケーブル」で構成されており、ノートパソコンは「パソコン本体」「バッテリー」「ACアダプター」「電源ケーブル」で構成されております。
スタートアップガイドの「接続」をご覧になり、接続を行ってください。

デスクトップパソコン

モニタ
→ コンセントへ
パソコン本体
キーボード
マウス

ノートパソコン

バッテリー
パソコン本体
コンセントへ
ACアダプター

各ケーブルの接続が終わりましたら、パソコン本体の電源ボタンを押し、起動させてください。
初回起動時のみ初期設定を行います。スタートアップガイドの「起動および初期設定」をご覧ください。

Windows XPの操作説明

Windows XPの詳しい使い方については、Windows XPのヘルプまたは付属の「パソコンはじめてマニュアルを参照してください。※「パソコンはじめてマニュアルはWindows XPモデルにのみ付属しています。

◆Windowsヘルプとサポートの起動方法
右記ショートカットキーを押してください。

Windowsキー + F1キー

CyberLink DVD Suiteについて

プリインストールされておりますCyberLink DVD Suiteは以下のソフトウェアで構成されております。

PowerDVD :**DVDビデオ再生ソフト**
PowerProducer :**DVDビデオ作成ソフト**
Power 2 Go :**DVD-R、CD-R等に書き込み可能なライティングソフト**

デスクトップ上にあるアイコンをダブルクリックしてください。

用途に合わせたメニューを選択してください。

ウイルス対策ソフトインストールの際のご注意

二つ以上の異なるウイルス対策ソフトをインストールしますと、「インストール出来ない」「OSが不安定になる」等の現象が出る場合がございます。
ウイルス対策ソフトがインストールされたPCに別のウイルス対策ソフトをインストールする場合は、あらかじめインストールされているウイルス対策ソフトをアンインストールしてください。

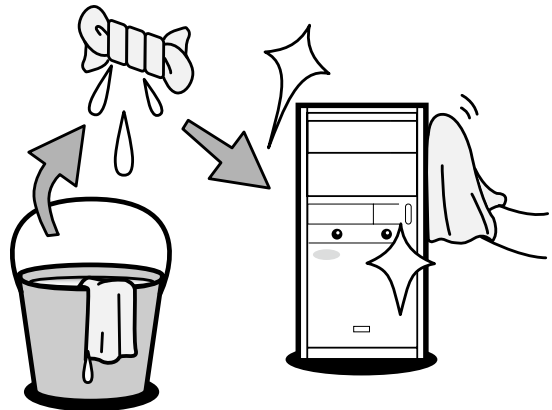
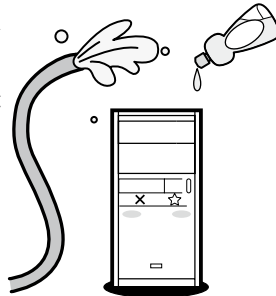
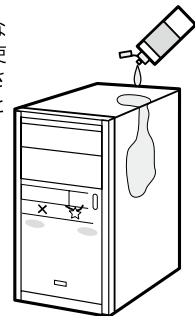
【対象製品例】
・ウイルスバスター
・ノートンインターネットセキュリティ
・ウイルスセキュリティ　など

第４章　本機のお手入れ

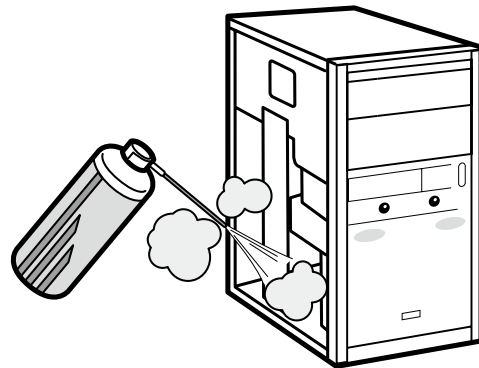
本体外側のお手入れ

本機が汚れた場合には、乾いたきれいな布で拭くか、水か中性洗剤を布にしみ込ませて、堅く絞ってから拭いてください。

また、市販のOAクリーナー等をご使用になる場合には、クリーナー付属の説明書をよく読んでからご使用ください。

必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて作業してください。

■水や洗剤などを本体に直接かけないでください。火災や感電または故障の原因となります。

■清掃にシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。変色の原因となります。

本体内側のお手入れ

本体内部には精密な機器が取り付けられています。本体内部を清掃する際はお客様ご自身の責任の範囲で行ってください。その際には、市販のエアーダスター（空気を噴射してホコリを取り除く物）を使用して、内部のホコリを取り除く方法をお勧めいたします。ただし、エアーを直接FANに吹き付けて回転させたり、FANに力を加えると故障の原因となりますのでご注意ください。

尚、清掃作業を行うことで本機が故障した場合、その損害の責任を当社に求めることはできません。

■本体内部に触れる際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。電源ケーブルを付けたままでの作業は、感電の恐れがあり大変危険です。

■本体内部には、静電気に非常に弱い部品が多数取り付けられています。本体内部に触れる際には、静電気に十分注意してください。

■本体内部に触れる際は、部品などを傷つけないように、また手などにケガを負わないように十分注意してください。

■本体内部の清掃の際に、布やＯＡクリーナーなどを使用すると故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

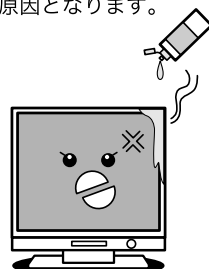
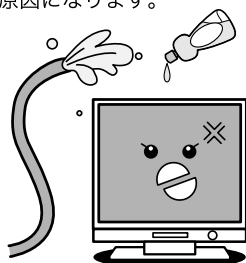
ディスプレイのお手入れ

表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいキレイな布で軽く拭き取ってください。
表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて堅く絞ってから、軽く拭いてください。
また、市販のＯＡクリーナー等をご使用になる場合には、クリーナー付属の説明書をよく読んでからご使用ください。

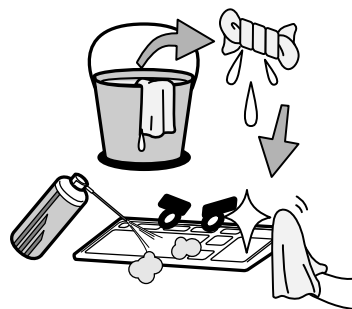
必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて作業してください。

ディスプレイのケースは絶対に開けないでください。内部に電圧の高い部分があり、大変危険です。内部の清掃や点検は、ご購入された販売店もしくは製造メーカーにご相談ください。

■水や洗剤などを本体に直接かけないでください。火災や感電または故障の原因になります。

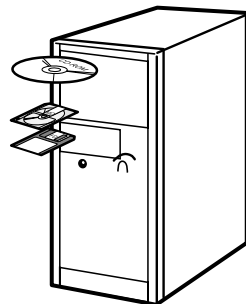
■清掃にシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。変色の原因となります。

キーボードのお手入れ

キーボードの清掃の際には、乾いたきれいな布か、水や中性洗剤をしみ込ませ、堅く絞った布で拭いてください。キーボードの隙間のゴミは、市販のエアーダスターで取り除いてください。

キーボードのまわりでの飲食は避けてください。飲料水などがキーボードにこぼれ落ち、故障の原因となる場合があります。

各ドライブのお手入れ（ハードディスクは除く）

CD-ROMドライブなどの光学ドライブやオプションのフロッピードライブ･MOドライブなど、各ドライブのお手入れには市販のクリーニングディスクを使用してください。
清掃の際には、クリーニングディスクに付属の説明書をお読みになってから行ってください。

■各ドライブ内にホコリやゴミが付着すると、メディア内に保存されているデータを壊してしまう可能性があります。

■各ドライブに、対応メディア以外の物を入れないでください。内部の機械部分を傷めるなど、故障の原因となることがあります。

各記録メディアのお取扱いについて

メディアに保存されているデータを破損させないためにも、各メディアに記載されている注意事項を守ってお取扱いください。
尚、いかなる理由でデータが紛失、破損しようとも当社ではメディア及びデータの補償はいたしませんので、データのバックアップは必ず行ってください。

第５章　本機カバーの開け方（デスクトップのみ）

内部の清掃を行ったり、内蔵機器を増設するためには本機のケースカバーを開ける必要があります。ここではカバーの開閉方法を説明します。

■機器の増設は自己の責任において行ってください。増設などの作業が原因による故障や機器の破損につきましては、保証期間内であっても有償修理となります。またこれらの作業についてのサポートもいたしかねます。

■作業が原因による身体への危害、もしくは故障や破損の責任を当社に求めることはできません。

■本機の構造上、内部には鋭利な部分がありますので作業の際には、十分に注意をしてください。

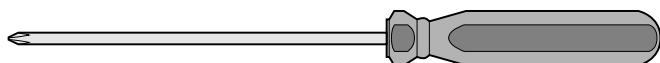
■必ず電源ケーブルを抜いて作業を行ってください。故障や感電の恐れがあり、大変危険です。

■本体カバーを外す際や機器の増設作業を行う際には、作業のしやすい安定した場所で作業を行ってください。

必要な工具

作業の前には機器の増設に必要な工具をあらかじめご用意ください。

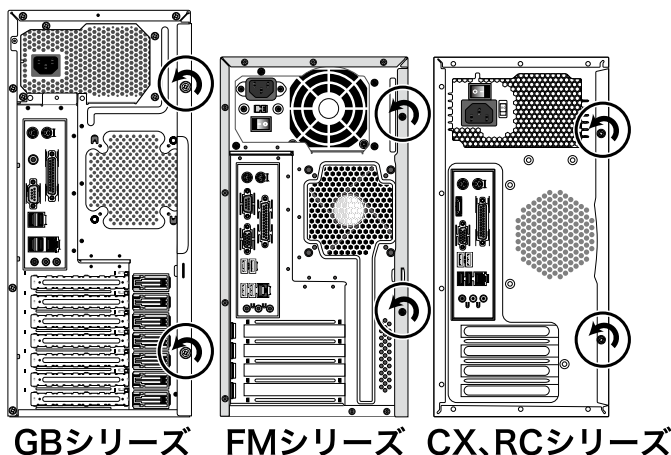
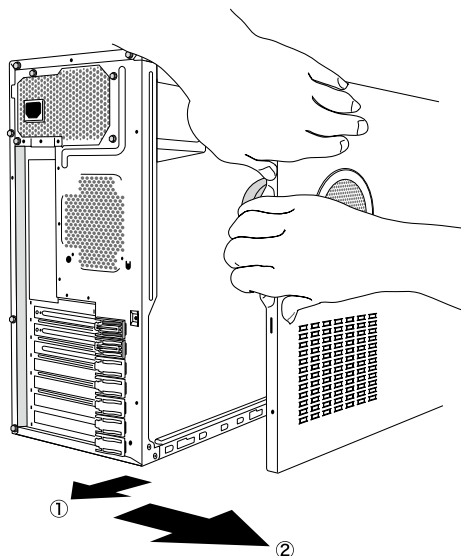
□プラスドライバー□

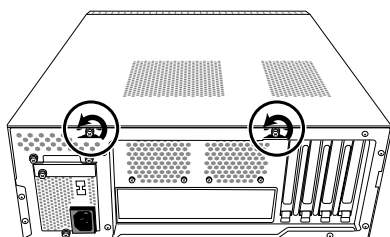
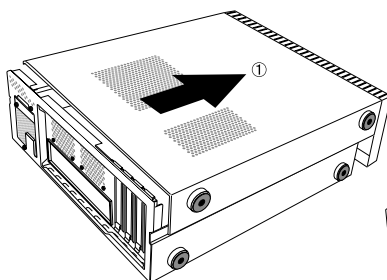
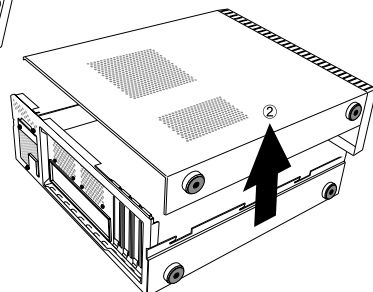
カバーを外す際や、機器の取付けの際に必要です。

□その他必要な工具□

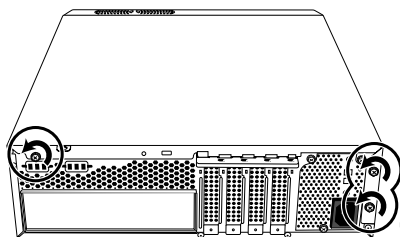
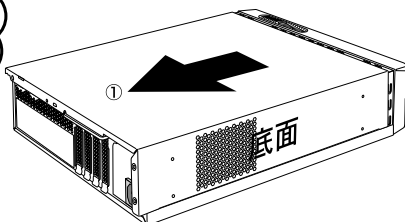
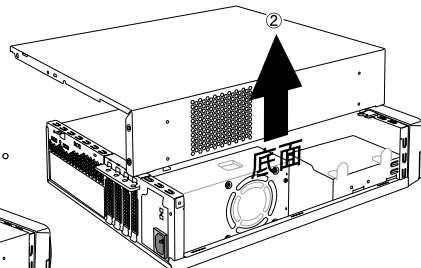
増設機器の説明書などに、上記以外の必要な工具が記載されている場合は、その工具類もご用意ください。

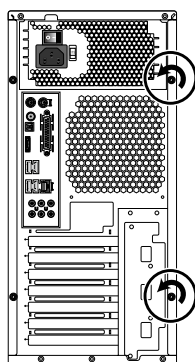
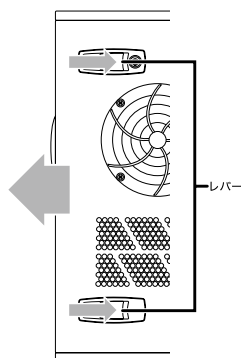
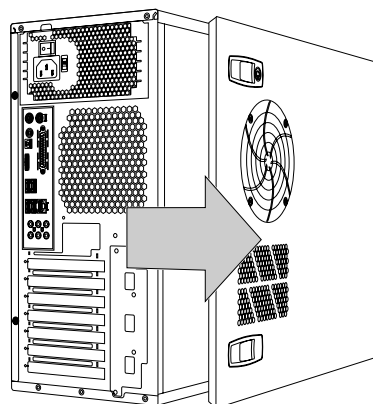
作業を行う前に、必ず本体背面の電源ケーブルを外してください。PCはメイン電源が入っていない状態でも常に通電している状態になっています。電源ケーブルがつながったままだと作業中にショートしてしまい、内部の部品が故障してしまう可能性があります。

●GB、FM、CX、RCシリーズのカバーの開け方

1.○で囲ってある2箇所のネジを、矢印の方向に回して外してください。

2.カバーを片手で押さえ、本体後ろ方向にスライドさせます。背面方向に1cmほどスライドさせた後、真横にずらすと取り外す事ができます。

●AIシリーズのカバーの開け方

1.○で囲ってある2箇所のネジを、矢印の方向に回して外してください。

2.カバーを両手で持ち、本体前方向にスライドさせます。

3.ゆっくり上方に持ち上げ、カバーを外してください。

●DS、ASシリーズのカバーの開け方

1.○で囲ってある3箇所のネジを、矢印の方向に回して外してください。

2.本体後方に少しスライドさせます。

3.ゆっくり上方に持ち上げ、カバーを外してください。

●CAシリーズのカバーの開け方

1.○で囲ってある2箇所のネジを、矢印の方向に回して外してください。

2.側板カバー上下のレバーを矢印方向に引きながら側板をずらしてください。

3.矢印の向きに外せます。

第６章　メモリの増設について

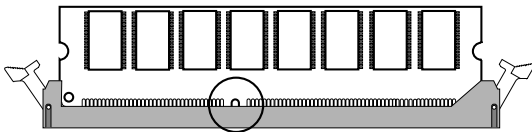
メモリはご購入の機種により、種類（DDR、DDR2など）、取付け位置（シングルチャンネル、デュアルチャンネル）、最大搭載可能容量が異なります。

各機種の情報については**フロンティアカスタマーセンター**にご確認ください。

◆メモリの取付け方法　※静電気による機器の破損に十分ご注意ください。

1.使用するソケット両端のレバーを外側に開きます。

2.向きに注意してメモリを奥までしっかり差し込みます。中央付近に切り欠きがあり、逆には接続できないようになっています。

3.メモリが正しく接続されると両端のレバーが戻ってロックされます。

◆メモリ容量の確認方法

メモリが正しく増設されているかOS上で確認してください。
『コンピュータ』を右クリックし、『プロパティ』を選択してください。

システム欄にメモリ容量が表示されますので、増設したメモリ分表示されているか確認してください。

※この図は、初期の容量が1GBのPCに1GBのメモリを追加した場合の例です。
　また、オンボードのグラフィックチップの場合、メインメモリからグラフィックメモリを使用しますので、表示されている数値が実容量より少なくなります。

【注意】
メモリを正しく取り付けないと、増設したメモリが正しく認識されない可能性があります。メモリの固定レバーが浮いた状態になっていた場合は、メモリを奥まできちんと差し込んで固定してください。
しっかりと取り付けられていない状態で電源を入れてしまうと、ショートを起こして故障してしまう事があります。

第７章　Windows XP の再インストール

パソコンが不安定になるなどの現象が発生した場合、Windows XP（以下OS）を再インストールすることにより、改善できる場合があります。以下の手順に沿って作業を行ってください。

ご注意
・OSを再インストールすることにより、お客様が設定していました項目がすべて初期状態に戻ります。また、後からインストールされたデバイスドライバやアプリケーション類は、OS再インストール後にもう一度セットアップを行ってください。
・大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。（USBメモリ、各種メモリーカードなどへ）OSを再インストールしますとすべて消失します。
・後から増設したハードディスク等の周辺機器がございましたら、外してください。

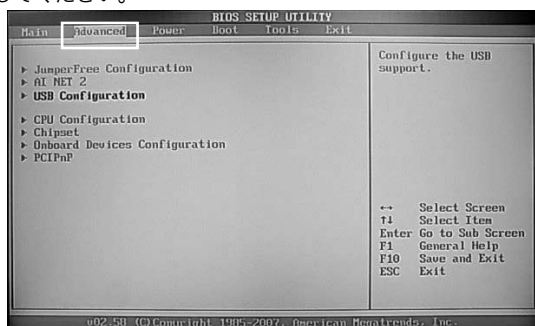
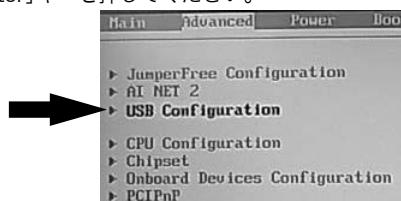
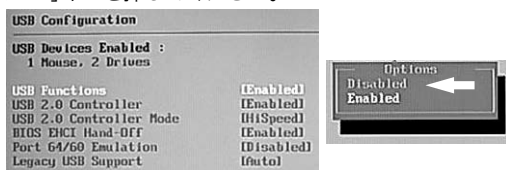
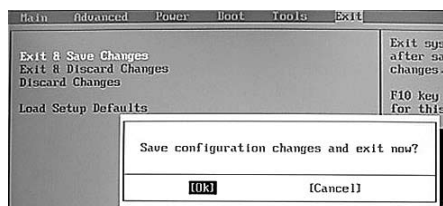
1.USBを一時的にオフにする

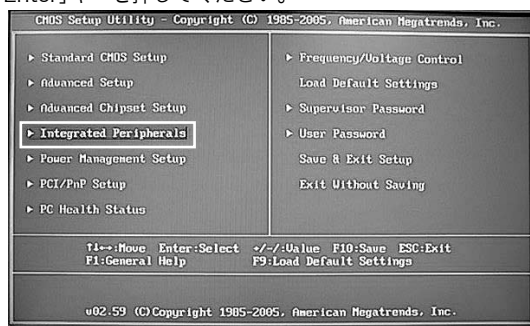
この作業はノートパソコンでは必要ありません。「2.Windows XPのインストール」から作業を行ってください。

通常インストールされるドライブは「C:」になりますが、カードリーダ等の内蔵USB機器が「C:」として登録される場合がございます。それを防ぐため、あらかじめBIOS（初期設定画面）でUSBを一時的にオフにする作業を行ってください。機種によって設定方法が異なります。機種が分からない場合はシリアルシールに記載の型番をご確認ください。（シリアルシールはデスクトップは左側面に貼付けてあります。）

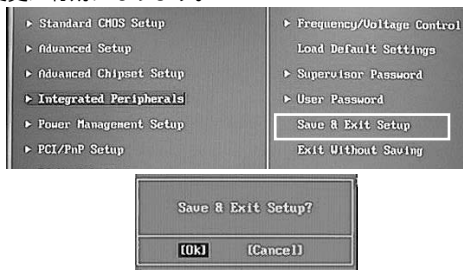
Windows XPインストール後、USBを必ず元の状態に戻してください。

ミドルタワーモデルの場合

1.まずBIOS画面に入ります。電源投入後、すぐに「Delete」キーを数回押してください。灰色の画面に切り替われば成功です。カーソルキーの「→」「←」で「Main」項から「Advanced」項へ移動してください。

2.カーソルキーの「↓」「↑」で「USB Configuration」を選択し「Enter」キーを押してください。

3.「USB Functions」が選択されていることを確認の上「Enter」キーを押してください。「Enabled」（有効）と「Disabled」（無効）を選択するウィンドウが表示されますので、「Disabled」を選択し「Enter」キーを押してください。

4.「Esc」キーを押してメニューを遡りAdvancedまで戻してください。カーソルキーの「→」「←」で「Exit」項に移動し「Exit & Save Changes」を選択し「Enter」キーを押してください。「Save configuration changes and exit now?」と問うウィンドウが表示されます。「OK」を選択し「Enter」キーを押してください。変更した設定の保存と再起動が実行されて設定変更が有効になります。

マイクロタワーモデルの場合

1.まずBIOS画面に入ります。電源投入後、すぐに「Delete」キーを数回押してください。青い画面に切り替われば成功です。カーソルキーの「↓」「↑」で「Integrated Peripherals」を選択し「Enter」キーを押してください。

2.カーソルキーの「↓」「↑」で「USB Functions」を選択し「Enter」キーを押してください。

3.「Enabled」（有効）と「Disabled」（無効）を選択するウィンドウが表示されますので、「Disabled」を選択し「Enter」キーを押してくだ

4.「Esc」キーを押してメニューを遡り最初の画面まで戻してください。カーソルキーの「↓」「↑」で「Save & Exit Setup」項に移動し「Enter」キーを押してください。「Save & Exit Setup?」と問うウィンドウが表示されます。「OK」を選択し「Enter」キーを押してください。変更した設定の保存と再起動が実行されて設定変更が有効になります。

2.Windows XPのインストール

再インストールを行うために以下の付属ディスクをご用意ください。
・ファーストステップガイドに付属のInstall Disc(インストールディスク)
・#2 Recovery／Driver Disc(リカバリー/ドライバーディスク) Disc　・CyberLink DVD Suite Disc
・Microsoft Officeディスク(セットモデルをご購入の場合)

1.Install Discを光学ドライブにセットしてください。(Discをセットするタイミング例としてOS起動後や本書P16のBIOS設定後のタイミング等がございます。)

2.パソコンを再起動してください。

3.起動途中、「Press any key to boot from CD or DVD. . . 」という文字出ましたらすぐに何かキーを押してください。タイミングを間違えますとOSがまた起動します。その場合もう一度再起動してください。

Press any key to boot from CD or DVD...._

4.ディスクから起動が始まります。しばらくお待ちください。

5.Windows XPセットアッププログラムが起動します。「Enter」キーを押してください。

Windows XP Professional セットアップ

セットアップの開始

セットアップ プログラムのこの部分では、Microsoft(R) Windows(R) XP のインストールと設定を準備します。

・ Windows XP のセットアップを開始するには、Enter キーを押してください。

・ インストール済みの Windows XP を回復コンソールを使って修復するには、R キーを押してください。

・ Windows XP をインストールしないでセットアップを終了するには、F3 キーを押してください。

Enter=続行 R=修復 F3=終了

6.「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されます。内容をよくお読みの上、同意する場合は「F8」キーを押してください。

Windows XP ライセンス契約

Microsoft(R) Windows(R) XP Professional、
Microsoft(R) Windows(R) XP Tablet PC Edition、および
Microsoft(R) Windows(R) XP Media Center Edition 2004

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書

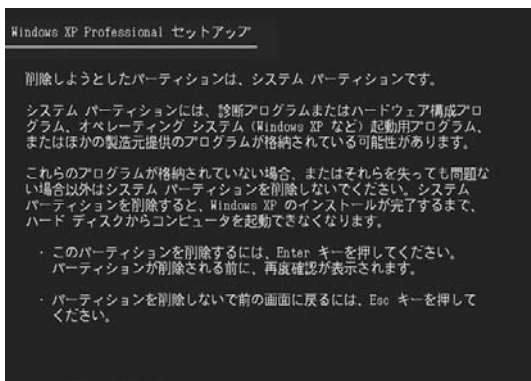
重要 - 以下の契約書を注意してお読みください 本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）は、お客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と本ハードウェアに添付されているかまたは関連する製品マニュアルに付属する Certificate of Authenticity（以下「COA」といいます）に明記されたマイクロソフト ソフトウェア製品（以下「本ソフトウェア」といいます）とともに取得したコンピュータ システムまたはコンピュータ システム コンポーネント（以下「本ハードウェア」といいます）の製造者（以下「製造者」といいます）との間に締結される法的な契約書です。本ソフトウェアには、マイクロソフト製のコンピュータ ソフトウェアが含まれ、それに関連した媒体、印刷物（マニュアルなどの文書）、オンライン文書または電子文書、およ

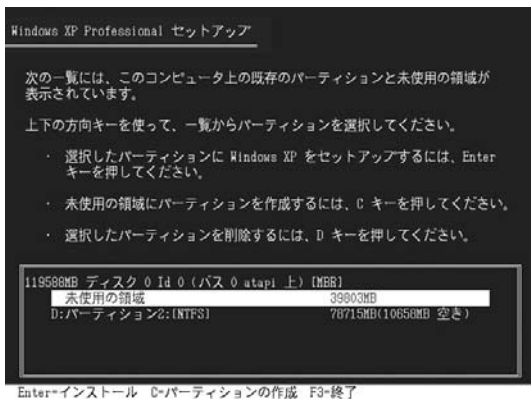
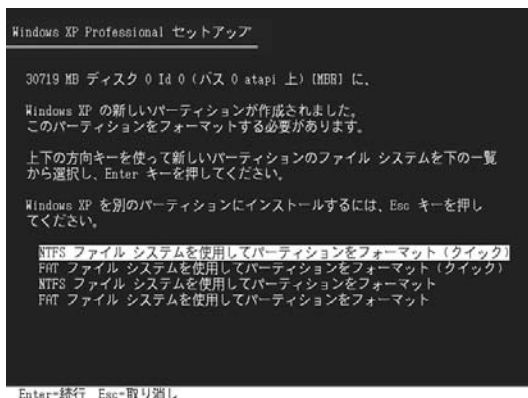
F8=同意します Esc=同意しません PageDown=次のページ

7.使用しているキーボードの種類を入力してください。ほとんどの場合は「106 日本語キーボード」です。その場合は「半角/全角」キーを押してください。

8.キーボードの確認画面が表示されます。「Y」キーを押してください。

9.Windowsのインストール場所の選択画面です。この図はハードディスクをパーティション分割してある場合です。ハードディスクのパーティション分割を行っていない場合は、「C:パーティション1：[NTFS]」のみ表示されます。

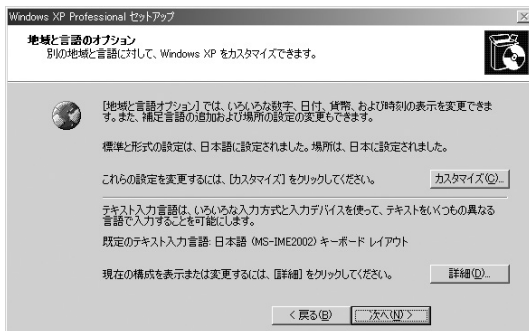
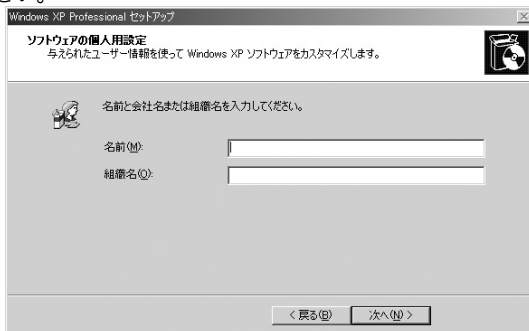
10.OSをインストールするパーティションを削除し、新たに作成します。「C:パーティション1:[NTFS]」が選択されていることを確認の上、「D」キーを押してください。続けて次画面で「Enter」キーを押してください。

11.もう一度確認画面が表示されます。「L」キーを押してください。

12.「未使用の領域」が選択されていることを確認し、「Enter」キーを押してください。

13.「NTFS　ファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット(クイック)」を「↑」「↓」キーで選択し、「Enter」キーを押してください。フォーマットが始まります。

14.続けてファイルのインストールが始まります。しばらくお待ちください。数十分かかります。その後自動的に再起動し、インストールが続きます。

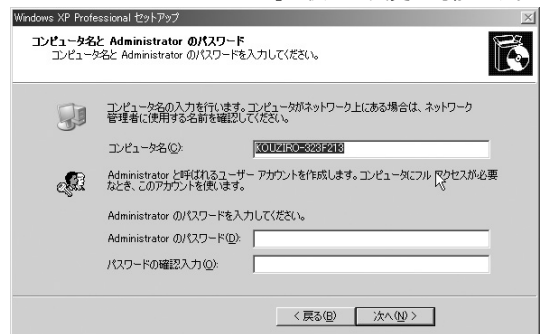
ご注意

次項以降の操作はマウスの使用をお奨めしますが、マウスをUSB接続し、かつ、『1.USBを一時的にオフにする』の操作でUSBをオフにされている場合は、マウスの操作ができません。その場合は「1.USBを一時的にオフにする」を参考に再起動のタイミングでUSBの設定を元の状態に戻してください。USBの設定を戻せず15項の画面が表示された場合はキーボードを使用してください。マウスが使用できない場合の各項目及びクリック可能なボタンの選択は、『Tab』キーで変更可能です。ボタンのクリックは、『Enter』キーにより行うことが出来ます。

15.グラフィカルな画面に変わります。しばらくお待ちください。

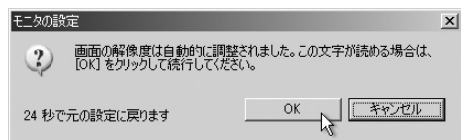
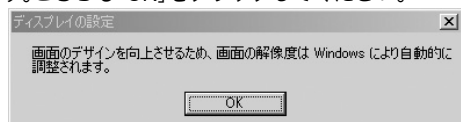
16.「地域と言語のオプション」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

17.「ソフトウェアの個人設定」が表示されます。名前と組織名(個人使用の場合は入力不要)を入力し「次へ」をクリックしてください。

18.「プロダクトキー」の入力画面が表示されます。PC本体に貼付けられているプロダクトキーを入力し「次へ」をクリックしてください。
※「プロダクトキー」はデスクトップPCには左側面、ノートPCには底面に貼られています。

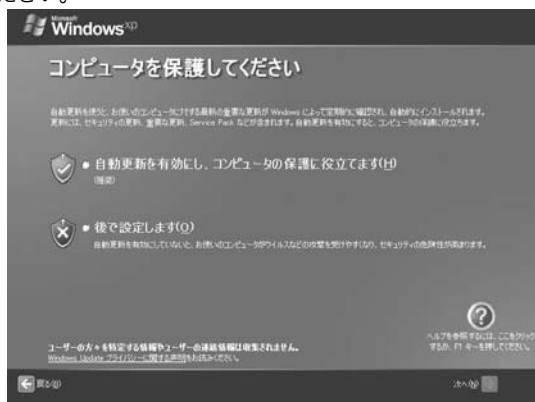
「プロダクトキー」の入力時は誤入力を防ぐ目的で入力に必要のないキーは入力できない仕様になっております。キーボードの不良ではございませんのでご注意ください。

19.「コンピュータ名」と「Administratorのパスワード」を入力し「次へ」をクリックしてください。「コンピュータ名」と「Administratorのパスワード」は後から変更が可能です。

Windows XP Home Editionの場合はコンピュータ名のみの入力になります。

20.「日付と時刻の設定」が表示されます。必要に応じて時刻を調整し、「次へ」をクリックしてください。

21.「ネットワークの設定」が表示される場合がございます。表示された場合は標準設定のまま「次へ」をクリックしてください。ワークグループまたはドメイン名の設定を行ってください。再びインストールが始まります。

22.「ディスプレイの設定」ウインドが表示されます。「OK」をクリックしてください。その後、「モニタの設定」ウインドが表示されます。こちらも「OK」をクリックしてください。

23.再起動後、Windows XPのセットアップが開始されます。「次へ」をクリックしてください。

24.「コンピュータの保護」設定画面が表示されます。インターネットへ接続する場合は「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」の○をクリックし、「次へ」をクリックしてください。

25.このコンピュータを使うユーザーを指定してください。最低でも1人分のユーザー名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

26.設定が完了しました。「完了」をクリックしてください。

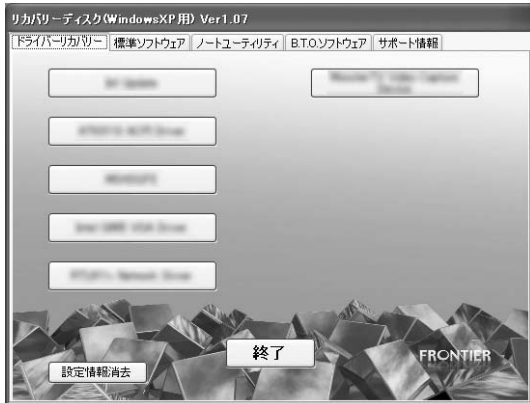
27.Windows XPが起動します。

3.ドライバ、ソフトウェアのインストール

1.続いてドライバ、付属ソフトウェアのインストールを行います。光学ドライブからInstall Discを取り出し、Recovery Discをセットしてください。「リカバリーコード入力ウインドウ」が表示されます。保証書封筒に同封されています製品構成表にあるリカバリーコード(お客様の元でこのマニュアルの表紙裏に予め記入してあればその数字、アルファベット)を半角で入力してください。入力が終わりましたら「次へ」をクリックしてください。

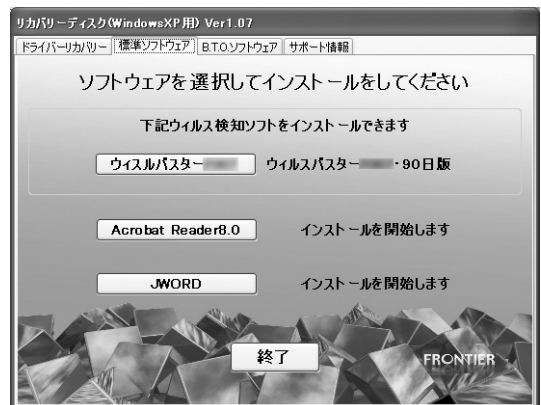
アルファベットのコードの入力は小文字のみです。間違えて大文字入力してしまうと項目が出てきませんのでご注意ください。

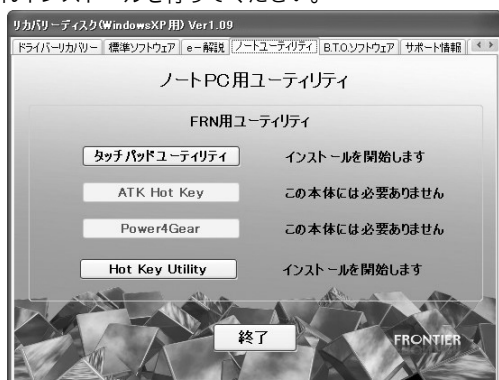
本Discを一度終了後、再度本Discを起動した場合、リカバリーコード入力ウインドウにはコードが自動的に入力されていますので、そのまま「次へ」をクリックし、インストールを続けてください。

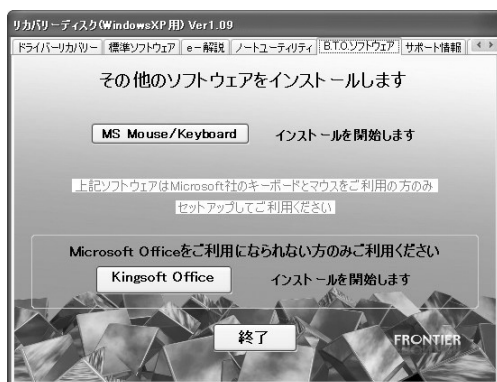
2.リカバリーコードを入力したらメニューが表示されます。

※ 表示されるドライバのボタンはお客様の構成により数や種類が異なります。

3.上から順番に画面の指示に従って、インストールを行ってください。途中で再起動を行う場合がございます。その場合は「マイコンピュータ」を開きRecoveryDiskをダブルクリックしてください。メニューが開きます。インストールが終わった項目は文字が赤く表示されます。

※ ドライバをインストールすることにより新たにデバイスを認識する場合がございます。その場合「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。「キャンセル」をクリックし、閉じてください。またメニュー画面に新しいドライバのボタンが現れる場合がございます。そのボタンから新しいドライバをインストールしてください。

4.次にソフトウェアをインストールします。「ウイルスバスター」、「AdobeReader」、「JWORD」の順に画面の指示に従って、インストールを行ってください。

◆ノートパソコンの場合

タッチパッド等のノート専用ドライバをインストールする必要があります。メニュー画面を表示させ、「ノートユーティリティ」タブをクリックし、表示されているボタンをクリックしてください。インストール画面が表示されます。画面の指示に従って、それぞれインストールを行ってください。

◆Kingsoft Officeについて

Microsoft Officeと互換性の高いソフトウェアです。このディスクに入っているのは「90日試用版」です。ご使用になる場合はインストールを行ってください。Microsoft Officeを購入されている方はそちらをインストールしてください。

4.キーボードドライバの設定変更

OSの仕様上、日本語キーボードを接続していてもOSインストール直後のキーボードドライバは「英語キーボード」に設定されています。以下の手順に沿って、日本語キーボードドライバに変更を行ってください。

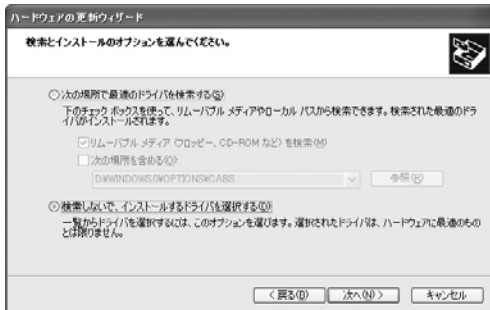
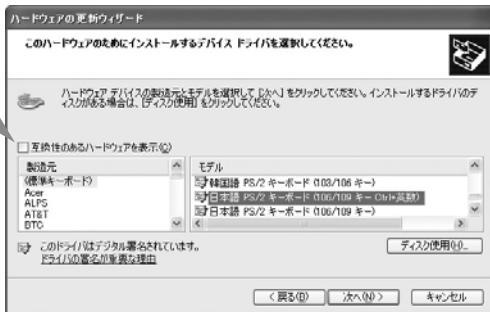
1.「マイコンピュータ」を右クリックし「プロパティ」を表示してください。表示された「システムのプロパティ」の「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。

2.「デバイスマネージャ」が表示されます。「キーボード」欄左側の＋をクリックし、現れた「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」をダブルクリックしてください。

3.キーボードのプロパティが表示されます。「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックしてください。

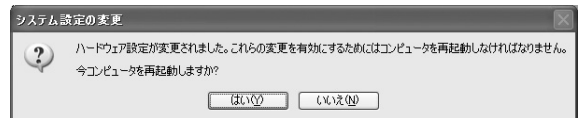
4.「ハードウェアの更新ウィザードの開始」が表示されます。「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

5.「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

6.「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

7.「このハードウェアのためにインストールするデバイスドライバを選択してください。」と表示されます。「互換性のあるハードウェアを表示」左側のチェックマークをクリックして、チェックを外し、モデル欄から「日本語　PS/2キーボード(106/109ｷｰCtrl+英数)」を探してクリックし、「次へ」をクリックしてください。

8.「ドライバの更新警告」が表示されます。「はい」をクリックしてください。

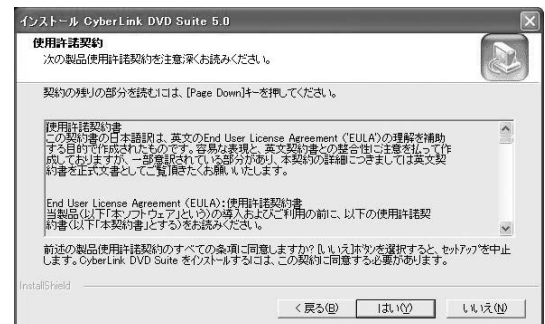
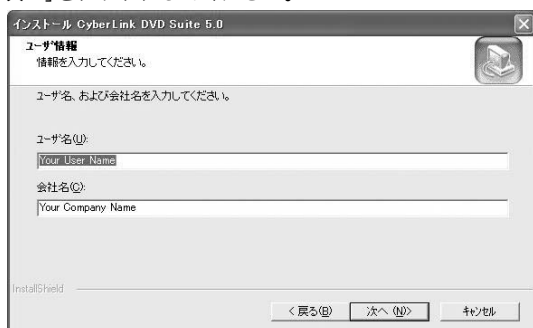
9.ドライバのインストールが完了しました。「完了」をクリックしてください。

10.もう一度「閉じる」をクリックしてください。

11.システム設定の変更が表示されます。「はい」をクリックしてください。再起動が始まります。再起動後、設定は完了です。

5.CyberLinkソフトウェアのインストール

DVDビデオ再生ソフト、DVDオーサリングソフト、ライティングソフトが入っているディスクです。
付属しないモデルもございます。

1.「CyberLink DVD Suite用のInstallShieldウィザードへようこそ」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

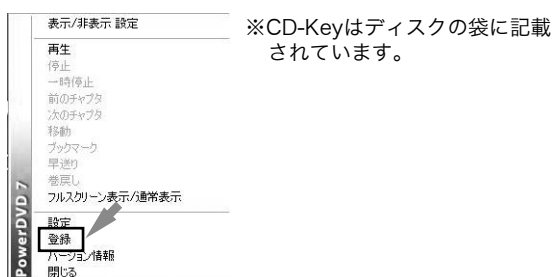
2.「使用許諾契約」が表示されます。よくご覧になった上で「はい」をクリックしてください。

3.「ユーザー情報」が表示されます。ユーザ名、会社名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

4.「インストール先の選択」が表示されます。そのまま「次へ」をクリックしてください。

5.ソフトウェアの選択画面が表示されます。そのまま「次へ」をクリックしてください。

6.インストールが始まります。しばらくお待ちください。

7.セットアップ完了画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。自動的に再起動します。再起動後、CyberLink DVD Suiteのセットアップは完了です。

8.CD-KEYの登録について
PowerDVDのソフトを立ち上げ、ツール画面上からマウスの右クリックを行い「登録」を選択し、袋に記載しているキーを入力してください。

※CD-Keyはディスクの袋に記載されています。

9.CyberLink DVD SuiteのDiscを取りだして下さい。

Windows XPインストール後まだUSB機能をオフにしている場合は、「1.USBを一時的にオフにする」を参考にUSBの設定を必ず元の状態に戻してください。

ライセンス認証(アクティベーション)について

OS再インストール後、初回起動時と同様にライセンス認証(アクティベーション)の手続きが必要になります。「スタート」メニューから「すべてのプログラム(P)」ー「アクセサリ」ー「システムツール」ー「Windowsのライセンス認証」を順番にクリックしてください。画面の操作方法(電話での認証を選択された場合は電話番号)が表示されますので、指示通りに進めてください。

以上でWindows XPのインストール作業は終了です。

Windows Updateを行ってください

常に最新の状態に保つため、Windows Updateを行ってください。
※Windows Updateを行うためには、インターネット環境が必要です。

※オプション品のMicrosoft Multimedia KeyboardやIntelliMouse Optical 5ボタンをご購入のお客様は、引き続きセットアップを行ってください。

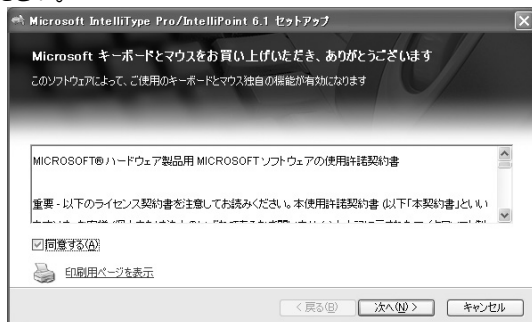
Microsoft Multimedia Keyboard

IntelliMouse Optical 5ボタン

Microsoft Multimedia Keyboard（オプション品）と IntelliMouse Optical 5ボタン（オプション品）のセットアップ

お客様がMicrosoft Multimedia KeyboardとIntelliMouse Optical 5ボタンをご購入されている場合、特有の機能を有効にするためにソフトウェアをインストールする必要がございます。以下の方法でインストールを行ってください。

1.Recovery Discをセットしてください。メニューが表示されます。「B.T.O.ソフトウェア」タブをクリックし、「MS Mouse／Keyboard」をクリックしてください。

2.「使用許諾契約」が表示されます。内容をご確認し、同意される場合は「同意する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

3.キーボードの選択画面が表示されます。「MultiMedia Keyboard」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

4.マウスの選択画面が表示されます。「IntelliMouse Optical」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

5.ソフトウェアのインストールが始まります。

6.インストールの完了画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。

7.再起動を促されます。「はい」をクリックしてください。自動的に再起動します。再起動後、セットアップは終了です。

8.Recovery Discを取りだして下さい。

第８章　困ったときの Q&A

電源

Q 電源が入らない。(電源ランプが点灯しないとき/点灯しているとき/両方の場合)

A 電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認したうえで、それぞれの操作をおためしください。

1)すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。一度抜いて挿し直してみるときは、電源コードを抜いて1分ほど放電させてから作業してください。
2)電源コードがコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。
3)スイッチ付きテーブルタップを使用している場合、スイッチが入っているか、テーブルタップのコードが壁のコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。
4)本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再度接続し、電源を入れてください。
5)コンピュータのコンセントまわりは混雑しがちです。コンピュータ本体だけ別のコンセントを使用してみるのも有効な場合があります。

Q 電源が切れない。

A 電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認したうえで、それぞれの操作をおためしください。

1)新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。
2)使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再度電源を切る操作を行ってください。
3)USB機器を接続しているときは取りはずしてください。
4)キーボード、マウスどちらかの操作でWindowsを終了させ、電源が切れないか確認してください。どちらかで切れたら、電源コードを抜いて効かなかった方のコネクタを挿し直してみます。

〈キーボードでの操作手順〉
【Windows XPの場合】
① キーボードの[ ]キーを押して画面上に【スタート】メニューを表示させます。
② [↑]キーを押して画面上で「終了オプション」を選んで[Enter]キーを押してください。
③「コンピュータの電源を切る」画面が表示されたら[↑]キーまたは[↓]キーで「電源を切る」を選んで[Enter]キーを押し、電源が切れたあと10秒後に本機の電源ボタンを押して再び電源を入れてください。
◆上記の操作で電源が切れない、または再起動しない場合は
[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押して、画面上に「Windowsタスクマネージャ」を表示させます。つづけてキーボードの[Alt]キーを押しながら[U]キーを押して、[↑]キーまたは[↓]キーを押して画面上のメニューから「コンピュータの電源を切る」または「再起動」を選び、キーボードの[Enter]キーを押してください。

5)プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合や、ネットワークを使用している場合
⇒使用しない状態にしてから、電源を切る操作を行ってください。
6)「電源を切る」の操作をしても、「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合
⇒まず[Enter]キーを押します。それでも電源が切れない場合は、本体の電源ボタンを4秒以上押したままにして、電源ランプが消灯するか確認してください。
7)【スタート】メニューから「シャットダウンのオプション」を選んでも電源が切れない場合
⇒[Alt]キーを押しながら[F4]キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、[電源を切る]をクリックします。[Alt]キーを押しながら[F4]キーを数回押しても「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合や、画面が固まったり、動かなくなった場合は、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面を表示させます。「シャットダウン」をクリックし、「コンピュータの電源を切る」をクリックしてください。それでも電源が切れない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押したままにして電源ランプが消灯するか確認してください。
※この操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合、Windowsのデスクトップ画面が表示されたら、Windowsの終了の手順に従って再起動または電源を正しく切ってください。

Q Windowsの動作状況が不安定になる。

A 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動します。再起動できない場合は、本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

・この操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合、Windowsのデスクトップ画面が表示されたら、Windowsの終了の手順に従って再起動または電源を正しく切ってください。
・この操作を行うと作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 電源を切った後でもマウスとキーボードが点灯している。

A キーボードなどからのウェイクアップ機能を有効にするために、周辺機器に常に5Vの電流が流れております。これは、マザーボードと電源ユニットの規格上の仕様となっております。

Q セーフモードでの起動方法が分からない。

A 電源投入後に F8 キーを何度も押下すると、詳細ブートオプションメニューが表示されます。選択項目より「セーフモード」を選択してください。

マウス・キーボード

Q マウスがマウスパッドの端まできてしまい、これ以上動かせない。

A マウスを持ち上げて、マウスパッドの中央に戻してください。

Q 画面上のポインタが動かない。

A 症状に応じて以下のいずれかの操作をおためしください。
1)マウスの接続状態に問題がある場合があります。前項の〈キーボードでの操作手順〉を参照の上、キーボード操作でコンピュータを終了させ、電源コードを抜いた後、1分ほど放置してから、マウスのコネクタを挿し直してみます。
2)マウスの底面が汚れている場合は清掃してください。また光学式マウスはマウスを置いている場所の図柄などにより誤動作を起こしたり動かなかったりする場合があります。そのような場合には、柄のない場所で操作するか、光学式マウスに対応したマウスパッドの使用が有効です。
3)CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどにポインタが動かなくなった場合
⇒キーボードの[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させ、「アプリケーション」タブでディスクの再生を強制的に終わらせます。キーボード操作で本機を再起動してください。
4)ノートの場合、「Fn」+「ファンクションキー」でタッチパッドを無効にしていないか確認してください。
5)以上の操作でも何も起こらない場合
⇒本機の電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q スクロール機能が働かない。

A ソフトウェアによっては、スクロールボタンのスクロール機能が使えないことがあります。これは仕様で故障ではありません。

Q キーボードを使って正しく入力できない。

A 症状に応じて以下のいずれかの操作をおためしください。
1)数字の文字が入力できない場合
⇒Num Lock(ナムロック)が無効になっている可能性が考えられます。Num Lockランプが消灯していないか確認し、消灯している場合は、キーボードの[Num Lock]キーを押してランプを点灯させてから入力してください。消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。
2)以上の操作でも何も起こらない場合
⇒キーボードの項目が「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」に設定されているかを次の手順で確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。
〈操作手順〉
①画面左下の【スタート】をクリックしてメニューを表示させ、その中の「コントロールパネル」アイコンをクリックします。
②[ハードウェアとサウンド]アイコンをクリックし、表示された画面上の[キーボード]アイコンをクリックして[キーボードのプロパティ]ウィンドウを開いてください。
③画面上の「ハードウェア」タブをクリックし、表示されたキーボードの項目が日本語PS/2キーボード(106/109キー)」に設定されているか確認します。
3)コンピュータを使用中にキーボードを抜き差しするとコンピュータが故障することがあります。キーボードの接続に問題がある可能性がある場合には、電源を切り、電源コードを抜いて1分ほど放電させてから、キーボードのコネクタを挿し直してください。

Q 「~(チルダ)」をキーボードのキーの刻印どおりに入力しても、入力できません。

A 日本語キーボードは製品によってキー配列が異なることがあります。現在OADG(Open Architecture Developer's Group)準拠のキーボードと、Windowsの仕様に沿ったキーボードがあります。それぞれのキーボードでは刻印の位置が異なります。キーボードがOADGのキー配列の場合、「~(チルダ)」は「わ」のキーに刻印されていますが、「へ」のキーで入力します。

Q Microsoftキーボードタイプで、「print scr」のキーが効きません。

A F LockキーをOFFにしてお試しください。

Q テンキーの数字が打てません。

A NumLockがオフになっている場合入力できませんので、NumLockキーをオンにしてください。
（ほとんどのキーボードの場合、キーボード右上に用意されています）

Q 通電したままキーボードを交換したら動かなくなりました。

A PS/2接続のキーボードやマウスは通電したまま交換すると壊れることがあります。その場合、キーボードやマウスの交換またはPC本体の修理が必要の場合がございます。

Q Microsoft Multimedia Keyboard（オプション品）とIntelliMouse Optical 5ボタン（オプション品）の特有の機能が使えない。

A 専用のソフトウェアをインストールする必要がございます。XPモデルはP25をご覧の上、インストールを行ってください。

スピーカー/ヘッドホン

Q 音が出ない。

A 別売の外部スピーカー/ヘッドホンを接続している場合は、以下について確認してください。
1）スピーカー/ヘッドホンの音声ケーブルが本機の正しい位置にしっかり接続されているか確認してください。
2）スピーカーの電源ケーブルがコンセントにしっかり接続されているか確認してください。
3）スピーカーの電源が入っているか確認してください。
4）片方のスピーカー/ヘッドホンからしか音が出ない場合
⇒スピーカーの接続方法が間違っている可能性があります。スピーカーの接続を再度確認してください。
接続について詳しくは、スタートアップガイドの「接続」をごらんください。
5）スピーカーの音量が最小になっていないかを確認
⇒スピーカーの音量が最小になっていないか確認してください。最小になっている場合は、音量つまみで音量を上げてください。
6）Windowsの音量がミュートまたは最小になっていないかを確認
⇒次の手順で本機を確認してください。
〈操作手順〉
デスクトップ画面右下のスピーカアイコンをクリックし、音量がミュートまたは最小になっているときは、ミュートを解除し音量を上げてください。

画面の表示

Q ワイドモニタでPCの画面が横長で表示される。

A 1280×768等のワイド用画面解像度で最適な表示となります。この解像度が選択できないグラフィックドライバーでは拡大表示となり横長に表示されてしまうためです。

Q 同じものを2つのディスプレイに映したい。(グラフィックボードGeForceシリーズ 搭載機種)

A 画面の設定でディスプレイを「クローン」に変更する必要があります。なお、あらかじめ2つのディスプレイと接続しておく必要があります。
〈設定画面への入り方〉
右クリック→画面のプロパティ→設定タブ→詳細設定→GeForce 8x00(※お客様の構成により表記は異なります)タブ→NVIDIA コントロール パネルの起動
※ドライバーのバージョンにより表記が変わる場合があります。設定方法が不明な場合は、フロンティアカスタマーセンターまでお問い合わせください。

Q ホームページを見ていたところ、特定のページで画面の一部が正常に表示されません。

A ホームページによっては、プラグイン形式のソフトを別途組み込む必要があります。必要なプラグインに関しましては、ホームページの管理者にお問い合わせください。

Q 画面の表示位置がずれました。オートアジャスト機能を実行しても改善しません。

A 一旦ディスプレイ電源ケーブルを抜き、10秒ほど置いた後に再度差し電源を入れてみてください。

Q 解像度を変更したところ、「OUT OF RANGE」等のメッセージが画面中央に表示された後、何も表示されません。

A 設定した解像度がディスプレイの表示限界を超えてしまった場合に発生します。電源投入後に F8 キーを何度も押下すると、詳細ブート オプションメニューが表示されます。選択項目より「低解像度ビデオ（６４０×４８０）を有効にする」を選択しOSを起動していただければ、VGA（640×480）モードで起動します。再度解像度の変更をお試しください。

Q 「Invalid System Disk」が表示され本体が起動しません。

A フロッピードライブにフロッピーが入ってる場合やカードリーダー内にカードが挿入されたままの場合は、取り外し再起動をしてください。

録音・録画・再生・書込み

Q WindowsMediaPlayerで市販のDVD-VIDEOが再生できない。

A WindowsMediaPlayerでは全てのDVD-VIDEOに対応しておりません。PowerDVD等のDVD再生専用ソフトでご覧ください。

Q WindowsMediaCenterでＴＶ録画を行いましたが、ファイルはどこに保存されているのでしょうか？

A コンピューター→「○○」フォルダ（○○はユーザー名）→Recorded TVフォルダ内に保存されています。

Q 書き込んだCDやDVDが、別のPCで読み込めません。

A CDやDVDの書き込み方式の１つとしてパケットライト方式があります。パケットライト方式では、ライティングソフト独自の形式で書き込むため、別のPCでは読み込めないことがあります。この場合、読み込み側のPCにも同一のライティングソフトをインストールするか、ライティングソフトのメーカーが提供しております、読み込み専用のソフトをインストールすることで読み込みできるようになります。

◆『パケットライト方式採用のライティングソフト』:B's CLiP、In CD、Direct CD、Instant Burn　など

Q CPRM対応ディスクに録画した映像が再生されない。

A 再生ソフトのハードウェア支援機能を無効にして下さい。

〔例〕PowerDVDの場合

1.「設定」のアイコンをクリックしてください。

2.「映像」タブをクリック後、「再生支援機能（DxVA）を使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックしてください。

その他

Q イジェクトボタンを押してもCDが出てきません。

A.「コンピュータ」を開き、CDドライブを右クリックし、メニューから「取り出し」をクリックしてください。
※アプリケーションがドライブを占有している場合、CDドライブのイジェクトボタンを押しても、取り出しはできません。

Q 3.5インチベイについている、マルチカードリーダーが認識されなくなりました。再起動しても認識しません。

A.USBカードリーダーを安全な取り外しで取り外した場合に発生することがあります。シャットダウン時にもUSBに電源供給されているタイプでは、再起動を行っても改善しません。この場合は、電源コンセントを外し、10秒程度置いた後、コンセントをさしてから電源を入れ直します。

Q 光学マウスを使用していますが、勝手にカーソルが動きます。

A.光学マウス対応のマウスパットを使用してください。光沢のあるマウスパットの場合、光の反射の関係で信号が誤認識され、誤動作が起こることがあります。

Q USB機器を付けたら起動が遅くなりました。

A.USB機器の中には、起動に影響を与えるものもございます。このような場合、起動時にはUSB機器を外してください。また、すべてのUSB機器の動作を保証するものではございません。

Q システムのプロパティでメモリサイズを確認したが、搭載メモリより少なく表示されています。

A.一部の機種では、グラフィックメモリにメインメモリを使用していますので、搭載メモリより少なく表示されます。

Q ドライブに入れたメディア(CD-ROM, DVD-ROM)が起動しない。

A.以下の手順で自動再生をお試しください。
1)「コンピュータ」を開いてください。
2)ディスクを挿入したドライブを右クリックしてください。
3)開いたメニュー画面より『自動再生(P)』を選択してください。

DVDビデオのリージョン(地域コード)について

DVDプレイヤーとDVDビデオは世界の地域別に6つのリージョンが設定されており、通常プレーヤーのリージョンとDVDビデオのリージョンが一致しないと再生できません。例えば、リージョン2のプレーヤーはリージョン2のDVDビデオの再生を目的としたもので、他のリージョンのDVDビデオは再生できません。これは他地域のソフト流出を防ぐことが目的です。

お客様が再生されるDVDビデオによっては、リージョン地域の変更が必要になる場合がございます。メッセージが表示されますので、再生する場合にはそのまま指示に従ってリージョンを変更してください。
※変更回数には上限がございます。上限に達すると変更ができなくなりますので、ご注意ください。変更後、元に戻す場合もまた変更回数としてカウントされます。

リージョン地域表

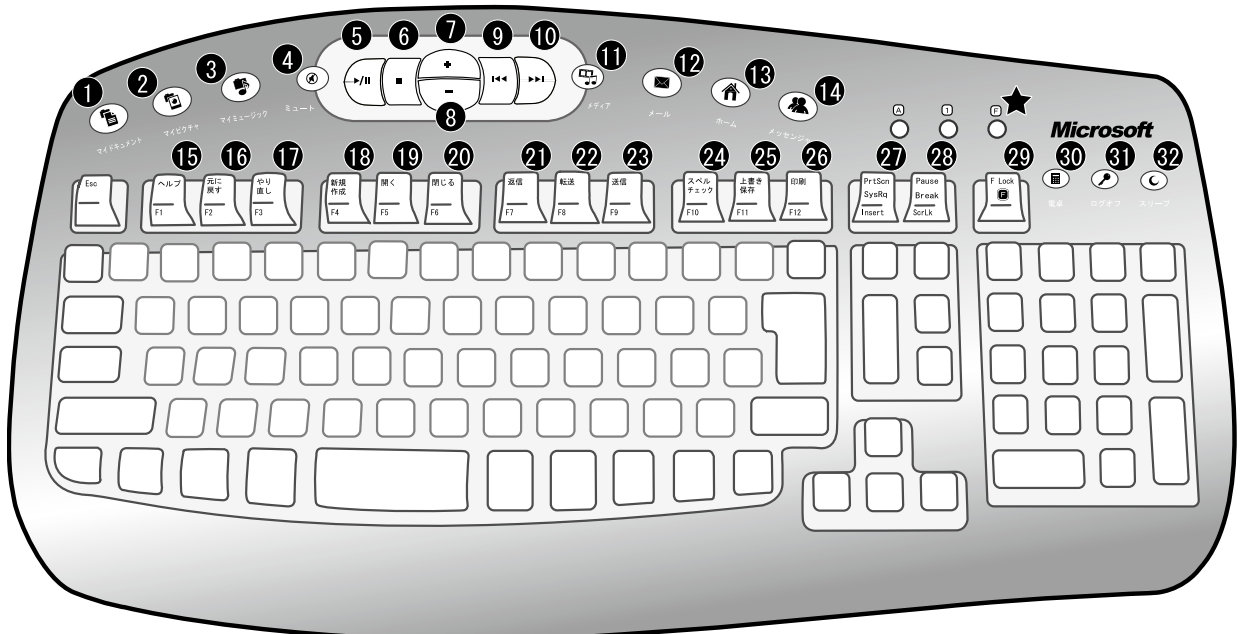
1. 北米／アメリカ・カナダなど
2. 日本・中東・ヨーロッパ／
   イギリス・フランス・サウジアラビアなど
3. 東・東南アジア／
   韓国・台湾・シンガポール・香港・その他東南アジア諸国
4. 太平洋地域・南米／オーストラリア・ブラジルなど南米諸国
5. ロシア・アフリカ／
   ウクライナ・エチオピア・その他アフリカ諸国
6. 中国

Microsoft MultiMedia Keyboardをご購入のお客様へ

Microsoft MultiMedia Keyboard ホットキー解説

各キーの使用方法

⑮～㉘のキーは★の位置にあるランプが消えている時に使えます(㉙のキーで切替)

1. マイドキュメント フォルダを開きます。
2. マイピクチャ フォルダを開きます。
3. マイミュージック フォルダを開きます。
4. コンピュータのサウンドをミュートします(オフにします)。もう一度押すと、システムのサウンドがオンに戻ります。
5. メディアプレーヤーで、メディアの再生と一時停止を切り替えます。一時停止の状態でこのボタンをもう一度押すと、メディアが再生されます。
6. メディアプレーヤーで、メディアの再生を停止します。再生/一時停止キーを押すと、メディアが再び再生されます。
7. コンピュータのサウンドの音量を上げます。連続して押すと、音量が徐々に上がります。押したままにすると、よりすばやく音量が上がります。
8. コンピュータのサウンドの音量を下げます。連続して押すと、音量が徐々に下がります。押したままにすると、よりすばやく音量が下がります。
9. メディアプレーヤーで、前のメディアトラックに切り替えます。1回押すたびに、1つ前のメディアトラックに戻ります。
10. 次のメディアトラックに切り替えます。1回押すたびに、1つ後のメディアトラックに進みます。
11. Windows Media PlayerやMicrosoft CDプレーヤーなど、既定のメディアプレーヤーを起動します。
12. 既定の電子メールプログラムを起動します。既定の電子メールプログラムが不明の場合は、メールホットキーを押して確認してください。
13. 既定のWebブラウザを起動して、ホームページにアクセスします。Webブラウザのウィンドウで作業している場合は、ホームページが表示されます。
14. Microsoftメッセンジャーサービスを開始します。
15. ヘルプ 作業中のウィンドウにヘルプシステムが用意されている場合、それを表示します。
16. 元に戻す 直前に行った操作を元に戻します。
17. やり直し 直前に元に戻した操作をやり直します。
18. 新規作成 このコマンドをサポートするプログラムで、新規ドキュメントを作成します。
19. 開く このコマンドをサポートするプログラムで、ドキュメントを開きます。
20. 閉じる 作業中のウィンドウのドキュメントまたはファイルを閉じます。
21. 返信 作業中のウィンドウ内の電子メールに返信します。
22. 転送 作業中のウィンドウ内の電子メールを転送します。
23. 送信 作業中のウィンドウ内の電子メールを送信します。
24. スペルチェック 使用しているプログラムにスペルチェック機能がある場合、作業中のドキュメントに対してスペル チェックを行います。
25. 上書き保存 作業中のウィンドウのファイルを保存します。
26. 印刷 作業中のウィンドウのファイルを印刷します。
27. PrtScn 作業中のウィンドウまたは画面全体の画像をコピーすることができます。
28. Pause 画面に自動的にスクロールされる情報を一時停止させることができます。
29. F Lock ファンクションキーの標準のコマンド(ランプが点灯している状態)と、Microsoftキーボードの拡張コマンド(ランプが消灯している状態)を切り替えます。
30. 電卓を起動します。
31. [Windows のログオフ] ダイアログ ボックスを表示します。
32. システムがパワーマネージメントモード(スタンバイ、中断、または休止状態)になります。 ※一部のモデルでは動作しません。

第９章　サポート・その他

サポートお問い合わせ

本機に関するお問合せ、技術的なご質問は、フロンティアカスタマーセンターにて受け付けております。
トラブルが発生した場合は、本書の「困ったときのQ&A」、または弊社ホームページをご確認ください。それでもトラブルが解消しない場合は、フロンティカスタマーセンターにご連絡ください。
なお、ご連絡いただいた際には本機のシリアル番号をお伺いします。その後の処理を円滑に行うためにもご協力ください。

フロンティアカスタマーセンター
受付時間：朝9時～夜9時（年中無休）
TEL.フリーコール 0800-100-5046

サポートウェブサイトのURL
http://kouziro.jp/support/

シリアル番号シール
（本体・保証書・梱包箱に貼り付けてあります。）

型番
MODEL:FR＊＊＊＊　5-19490-1
S/N:＊＊BA＊R7G3＊＊-01
シリアル番号

修理に出す際のご注意

●修理に出す際には、本機、保証書、修理・サポート依頼書（本書の最後のページにあります）をお送りください。店頭等に持込みの場合にも添付してください。

●無償修理に関する詳細は、無償修理規定をご確認ください。

●保障期間終了後の修理依頼につきましては有償修理となります。

●修理には、通常弊社リペアセンター到着後7営業日かかります。ご了承ください。

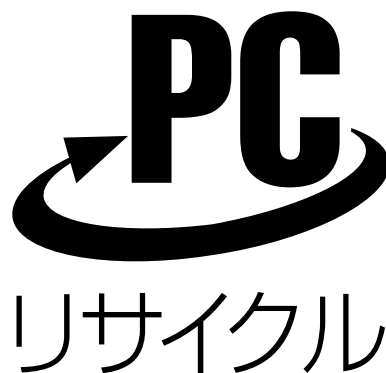
●お見積ご連絡後、14営業日を経過してもご回答がない場合には、修理品を着払いにてご返却いたします。

●破損防止のため、梱包箱を交換させていただく場合がございます。その際、送付いただきました梱包箱は処分させていただきます。

●Windowsのパスワード、BIOSのパスワードは解除してお送りください。

家庭系ＰＣリサイクルについて（個人・ご家庭のお客様）

2003年10月１日より始まった「資源有効利用促進法」に基づき、家庭から出される使用済コンピュータの回収・リサイクルを行う「PCリサイクル」が始まりました。それに伴い、製造事業者である株式会社 KOUZIROでは「株式会社KOUZIRO」または「フロンティア神代」の表記があるPCリサイクルマーク（右図参照）が貼付されている弊社商品について、個人・ご家庭からの排出時に新たな料金の負担なく回収・再資源化いたします。
詳細は、ホームページ（http://kouziro.jp/）をごらんいただくか、フロンティアカスタマーセンターまでお問合せください。

※「PCリサイクルマーク」は、コンピュータ本体背面・側面に貼付してあります。なお、紛失された場合は有料での回収となります。また、PCリサイクルマークの再発行はできませんので、大事にお取扱いください。
※付属の液晶ディスプレイは、PCリサイクルに対応していないものがあります。非対応の場合、個人・ご家庭の排出時に新たな料金をご負担いただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
※法人（事業系）のお客様がご使用のコンピュータのリサイクルにつきましては、「事業系PCリサイクルについて」をご参照ください。

事業系ＰＣリサイクルについて（法人のお客様）

株式会社 KOUZIROは、使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始いたしております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピュータの製造等の事業を行う者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収行程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。

回収・リサイクルの流れは次の通りです。

①事業系のお客様からの受付
▼
②全国ネットワークの回収デポにて製品を回収
▼
③リサイクルセンターへ運搬
▼
④リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化

※料金体系や周辺機器などの個別条件につきましては、本書巻末の「お問い合わせ先一覧」に記載されております「●法人営業窓口」までお問合せください。
※「PCリサイクルマーク」は、個人・ご家庭からコンピュータを排出する時のみ有効です。法人（事業系）の排出時におきましては、マークの有無にかかわらず、新たな料金をご負担いただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
※個人・ご家庭のお客様がご使用のコンピュータのリサイクルにつきましては、「家庭系PCリサイクルについて」をご参照ください。

お問合せ先一覧

●サポート窓口

KOUZIROカスタマーセンター

※連絡先は保証書に記載してありますので、お問い合わせの際には必ずお手元にご用意ください。

●販売窓口

本社
〒742-0021　山口県柳井市柳井5984-1

通信販売窓口
東日本通信販売窓口 03-5846-2188　FAX 0820-24-2425
西日本通信販売窓口 0820-24-2428　FAX 同上
営業時間　9:00～21:00　　年中無休

インターネット
ホームページ http://kouziro.jp/
E-mail　webshop@frontier-k.co.jp

●法人営業窓口

東京営業所
〒113-0034　東京都文京区湯島3丁目1番4号　3F
電話　03-5846-2185　FAX 03-5846-2187
営業時間　9:00～18:00　定休日　土・日曜日

名古屋営業所
〒460-0008　愛知県名古屋市中区栄3-34-30
ヤマダ電機デジタルスタイリッシュ館名古屋栄店内
電話　052-262-4061　FAX 052-262-4062
営業時間　9:00～18:00　定休日　土・日曜日

大阪営業所
〒556-0011　阪府大阪市浪速区難波中2-11-35
ＬＡＢＩ1なんば　B1F
電話　06-6644-7545　FAX 06-6644-7585
営業時間　9:00～18:00　定休日　土・日曜日

広島営業所
〒730-0034　広島県広島市中区新天地5-3
ヤマダ電機テックランド広島中央本店内
電話　0820-24-2421　FAX 0820-24-2425
営業時間　9:00～18:00　定休日　土・日曜日

福岡営業所
〒813-0044　福岡県福岡市東区千早5-8-1
ヤマダ電機テックランド香椎本店内　3F
電話　092-673-1540　FAX 092-673-1539
営業時間　9:00～18:00　定休日　土・日曜日

法人営業部WEBサイト
ホームページ http://kouziro.jp/corporation/

●本書は修理ご依頼の製品及び保証書と一緒にお送りください。店頭等にお持込の場合にも添付してください。
●※がついている項目は必ずご記入ください。

修理/サポート依頼書

ご記入日　　年　　月　　日

フリガナ		電話番号※	
ご署名※		ＦＡＸ番号	
ご連絡先住所※	〒		
E-mailアドレス			
有償修理時の連絡方法※	□概算見積(無料)　□見積発行のみ　□見積＋請求書　／　□郵送　□FAX　□E-mail ◆お見積書作成後のキャンセルにつきましては検査費用として別途¥3,150(送料別)を申し受けます。		
パソコン本体のシリアルナンバー ◆右図のシールがPC本体に貼ってあります。 S/N：＊	現行のシリアルシール MODEL:FR x x x x　5-19490-1 S/N: ＊＊BA＊R7G3＊＊	旧製品のシリアルシール GB-P15CDR/845 /1＊51＊0 /6210 S/N ＊0＊＊＊HM10＊AB＊	
(フリガナ) OSのパスワード※	□無し/□有り(　　　　　　　　)		

・「OSのパスワード」が設定されていて、ご記入が無い場合、パスワードをご確認させていただく為に、お時間をいただく場合があります。
・「OSのパスワードのフリガナ」は**0(ゼロ)**と**O(オー)**、**I(アイ)**と**1(イチ)**、**－(ハイフン)**と**＿(アンダーバー)**等の誤読を防ぐ為にご記入ください。

▼あてはまる項目にチェックをつけて、詳細をご記入ください。

・記入漏れがある場合、修理中に詳細をご確認させていただく為に、お時間をいただく場合があります。

ハードディスク障害時の処置(HDDの交換が必要となります)※

□消去可 ―― 工場出荷時の状態で返却を希望します。

□消去不可 ┬ □現状のままでの返却を希望します。
　　　　　└ □新しいHDDを購入し、PCに組込み工場出荷状態にしての返却を希望します。
　　　　　　（障害のあるHDDは修理完了時に取り外し添付してお返ししますが動作保証はいたしません）

◆いかなる場合でもハードディスク等記憶装置内のデータの保証は致しかねます。あらかじめご了承ください。

ご使用環境について※

PCにはどのような周辺機器(キーボード、マウス、プリンタ、USB接続のHDD等)が接続されていますか？
◆お客様が増設された機器が障害原因の場合など、増設機器を取り外してご返却させていただく場合がございます。

症状(なるべく症状が再現できるように具体的にご記入をお願いします)※

発生状況	□ある日突然　□環境を変更後(具体的に:　　　　　) □特定の作業後に発生(具体的に:　　　　　)
発生頻度	□１００％　□頻発する　□時々発生 □その他(具体的に:　　　　　)

具体的な症状は？
□電源スイッチを押しても電源ランプが点かない。
□電源ランプは点いて動作音はするが、画面に何も映らない。
□起動時、FRONTIERロゴで止まる。

【以下はリカバリー機能のある機種のみご記入ください】
□ハードディスクからリカバリーが出来ない。
□リカバリーメディアからリカバリーが出来ない。
□リカバリーメディアが作成できない。(作成機能の無い機種もあります)

【その他具体的な症状をご記入ください】 例)起動時に拡張メニューが表示され、何を選択しても再起動する。

・破損防止の為、梱包箱を交換させていただく場合があります。その際、送付いただきました梱包箱は、処分させていただきます。
・保証期間終了後の修理依頼につきましては有償修理となります。
・修理には、通常修理センター到着後7営業日程度かかります。ご了承のほどお願いいたします。
・お見積ご連絡後１４営業日を経過して、ご回答をいただけない場合には、修理品を着払いにてご返却させていただきます。
・ご不明な点がございましたらコールセンター(**0800-100-5046**)までお気軽にご連絡ください。